



【子宮頸がん HPV ワクチンについて】

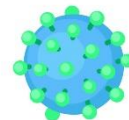
日本では毎年、約 1.1 万人の女性が子宮頸がんになり、そのうち毎年 3,000 人弱の女性が亡くなっています。

とくに若い年齢層で増加傾向にあるがんです。

子宮頸がんは予防できるがんです。予防のために今できる2つのこと！



① 子宮頸がん(HPV)ワクチン ② 子宮頸がん検診



高校1年 女子対象

【子宮頸がん(HPV)ワクチンの接種を検討している方】

◎接種は合計3回

◎接種完了するまで約6カ月かかるため、接種を考えている人は

2025 年 9 月中に初回接種を！

※高校2年生以降は自費(3回で10万円)

子宮頸がんワクチンは、約 10 年前から国の定期接種になりましたが、接種後の失神など様々な症状が話題となり、「ワクチンは危ない」という噂が広がり、ワクチンを接種しない人が増えました。しかし、因果関係はなかったという専門家チームによる検証結果が出ています。それを踏まえてワクチンの効果とリスクを理解したうえで接種をするかしないかを決めていただきたいと思います。心配な場合は地区の保健センターやかかりつけ内科医、婦人科医などにご相談ください。

～HPV について男子にも知ってほしい事～

HPV(ヒトパピローマウイルス)が関係しているがんは子宮頸がん以外にも中咽頭がん肛門がんなどが報告されています。具体的に中咽頭がんの 50%、肛門がんに至っては 93%が HPV 感染によるものとされています。

また、HPV は、ほとんどが性交渉を通じて感染するとされています。このため、男性から女性に感染し、その結果、女性が子宮頸がんになるケースもあるのです。したがって女性だけの問題ではなく、男性にも関係のあるウイルスということを覚えておいてください。

